

市議会だより

昭和60年4月15日 No.89



ごあいさつ



北九州市議会
議長
浜田 順治



北九州市議会
副議長
大坪 郁夫

わたくしたちは、去る二月の北九州市議会定例会において、議長、副議長に選任されました。

北九州市は、このたび、昭和六十年からの六年間の市政運営の「よりどころ」「ガイドライン」としての性格をもつ「さわやか北九州プラン」をスタートさせ、健康都市づくりの第一歩を踏み出しました。

しかしながら、昨今の地方自治を取り巻く諸情勢はきわめて厳しいものがあります。

このような時期に、議長、副議長としての重責を担うことにつきまして、わたくしたちは、使命の重大さを痛感するとともに、あらたな意欲をもって健康都市建設のため、専心努力する所存であります。

なにとぞ、市民の皆様の深いご理解とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。就任のごあいさつといたします。

改選後初の定例会

60年度予算を可決

昭和六十年二月北九州市議会定例会を二月二十二日から三月二十日までの三十三日間の会期で開きました。

今議会は、一般選挙後、初の定例会であるため、議案の審議にさきだち、議長、副議長の選挙や常任委員会委員の選任を行いました。

また、市長から提出された議案は、六十年度北九州市一般会計予算など七十二件でした。

これらの議案について、本会議で質疑を行った後、当初予算関係議案を予算特別委員会に、その他の議案を所管の常任委員会に付託し審査した結果、すべてを原案のとおり可決しました。

一方、議員から提出された議案は十九件で、大都市税財政制度の確立、国有施設の取得促進及び有効利用対策並びに情報公開に関する調査研究について」など十七件を可決し、二件を否決しました。

市長提案理由説明(抜粋)

北九州市は、このほど市制二十二年を迎えました。

この間市民のためまぬ努力によって都市機能は他都市に劣らぬ水準にたかめられ、福祉施策も充実してきました。新年度からは、健康都市づくりをめざす「さわやか北九州プラン」がスタートします。高齢化社会は、市民が生涯を通じて心身ともに健康な生活を送ることのできる社会環境を整備しなければ成り立つものではありません。この観点から、うるおいのある活力に満ちた地域社会を築き上げる考えで、市民各層の意見を反映させながら、昭和六十五年を最終期とする中期計画を策定いたしました。

国の財政再建の影響もあって、依然として財政は窮屈であります。



特に、国は新年度高率補助金の一部削減を行うこととしておりまして、その影響は甚大であります。これは、国と地方との信頼関係をそこなうものであるとして、昨年来地方六団体を中心として反対運動を行った結果、所要の救済措置が講ぜられることで決着しましたが、個々の自治体に対してどのような財源手当がなされるかは不明確でありますので予算編成に当たっては慎重を期することとし、従来通り歳入確保と歳出の効率的な使用にとめる所存であります。

二十一世紀はまだかに迫っております。われわれは先輩の成就した五市合併の精神を体し、未来に向って個性的な北九州市を築き上げるべく、より一層の努力を傾注しなければならぬと考えます。

決まった主なもの

市長提出

◎六十年度当初予算

- 一般会計
- 三、四八四億一、八〇〇万円
- 普通特別会計(十八会計)
- 二、五四七億 四七五万円
- 企業会計(五会計)
- 一、〇四六億八、三八八万円
- 総額
- 七、〇七八億 六六三万円

◎五十九年度補正予算

- 一般会計
- 三〇億五、五二六万円を減額補正
- 普通特別会計
- 一四一億一、七七二万円を減額補正
- 企業会計
- 三億九、一一八万円を減額補正
- 総額
- 一七五億六、四一五万円を減額補正

◎北九州市立交通安全センター条例

北九州市立交通安全センターを設置するため条例を制定するもの

◎北九州市国民健康保険条例の一部改正

国民健康保険における退職者医療制度の創設に伴い、関係規定の整備を図るもの
◎北九州市下水道事業の設置等に関する条例

下水道事業に地方公営企業法の規定の一部を適用するため、条例を制定するもの

◎北九州大学条例の一部改正

北九州大学の授業料等の適正化を図るため、関係規定を改めるもの

◎仮称第三志徳中学校造成工事請負契約締結

契約金額 四億六、六〇〇万円

◎土地の取得

小倉南区沼緑町二丁目、葛原高松一丁目及び大字沼に所在する土地を仮称第二葛原小学校用地として買い入れるもの
面積 二万七、四八一・四五平方メートル
予定金額 八億二、四三七万円

議員提出

◎特別委員会の設置

本市が直面している重要課題について調査研究するために、六つの特別委員会を設けるもの(各委員会及び委員名は後掲)見書

◎労働時間の短縮促進に関する意見書

労働基準監督署の存続を求める意見書

◎国庫補助負担金削減の恒常化に反対する意見書

大型間接税導入に反対する意見書

◎シートベルト着用推進に関する決議



質疑
応答

企業会計へ移行

下水道事業

議員 下水道の役割は、汚水の浄化はもとより、浸水解消や公共水面の汚濁防止などきわめて公共性の強いものがあります。

このような下水道事業に、独立性を求め、採算性を求める企業会計を採用することは適当でないと思います。

また、企業会計移行は使用料改定や投資意欲の減退につながるなどの指摘がありますが、どのように考えていますか。

市長 企業会計への移行は、下水道の本格的な維持管理時代を迎えるにあたり、原価意識をもって事業を効率的に運営していくために実施するものです。

使用料については、六十二年三月までの使用料体系が議決されており、使用料を値上げするために、企業会計に移行するものではありません。

また、使用者に対する負担を軽減するため、今後とも、一般会計からの繰り入れを、必要限度において行う考えです。

今後の投資については、既存市街地の整備は一応の水準に達して

本会議で十七人の議員が、市長から提出された議案等について、代表質疑と一般質疑を行いました。

その中から主なものを取り上げました。

いるため、若干減少するかもしれませんが。しかし、小倉南区や八幡西区の南部等、まだ整備を要する地区が残っており、地域格差を是正するため、今後とも下水道の整備に力を注いでいく考えです。

国庫補助負担金削減の影響は

生活保護行政

議員 国庫補助負担金の一割削減が実施されようとしています。この措置により、市の生活保護行政にどのような影響が生じるのですか。

また、県では、被保護世帯の車の保有調査の実施など生活保護の全面的見直しを表明していますが、本市は、今後どのようにすすめていくのですか。

市長 国庫補助負担金を削減される大きな影響を受けています。

しかし、国庫補助負担金を一割削減されたから、被保護世帯を一割削減するというようなことはできません。

必要な扶助は当然、憲法で保障されており、被保護者に対する扶助は何ら変わることはありません。また、車の問題については、これまで、十分調査を行っていま

す。五十九年度に車の所有を確認したのは百三世帯で、そのうち保護の廃止が三十一世帯、車の処分が二十八世帯となっています。残りの四十四世帯については、指導を継続しています。

本市は、今までも正しい生活保護行政のあり方を求めてきており、今後とも、適正、公正な運営に努めていきたいと考えています。

これからの取り組みは

さわやか北九州プラン

議員 六十年年度から六年間、市政運営のよりどころとなる「さわやか北九州プラン」は、健康都市づくりを中心テーマとして掲げています。

このプランを推進し、活力あふれるさわやかな健康都市を実現するためには、市民の理解と協力が最も重要であると思います。

今後、市民に対して、どのように働きかけていくのか、具体的に取り組みについておたずねします。

市長 健康都市づくりといっても、市が市民に健康を与えるというものではなく、市民憲章の趣旨に基づき、市民の自発的な立ち上りや積極的な市民参加を前提としていきます。

このプランは、各種団体の参加による討議の結果、最終案をまとめたもので、啓発活動については新年度に入る前から積極的に展開していきたいと考えています。

また、四月二十日には、広く市民から募集した宣言文による健康都市宣言を行う計画です。宣言も市民の意思を表明する内容で、「さ

わやか北九州プラン」をスタートさせたいと考えています。

予算編成の考え方は

議員

本市の六十年年度一般会計予算の伸び率は一・〇パーセントで、国家予算の三・七パーセント、地方財政計画の四・六パーセントに比べて低く、また、福岡市と比較しても低くなっています。

どのような考え方で予算編成を行ったのですか。

市長 本市の財政状況は、国庫補助負担金の削減によって大打撃を受けており、また、近年の公債費の増大等により非常に厳しい状況となっています。

このような厳しい財政状況ですが、市民福祉向上の確保と「さわやか北九州プラン」を推進するために、財政調整基金五十億円を取りくずすなど財政事情の許す限り、努力をしています。

なお、予算の伸び率は、完成した都市モノレール小倉線関連事業費を除いた場合、三・七パーセントとなっています。

大連市との交流を

活発に

議員 先般、友好都市である大連市への退職技術者派遣が実現しました。

このように、大連市との多面的な交流を続ける中で、地についた実務レベルの経済交流が必要であると思いますが、今後どのようにすすめていくのですか。

また、中国との結びつきをさらに深め、貿易の振興と北九州港の繁栄のため、大連港との友好港提携はぜひとも必要であると思いますが、どのようになっていますか。

市長 今年五月に大連市長が来北されるので、その際、北九州商工会議所、西日本国際貿易促進会、北九州貿易協会などと北九州市・大連市経済交流委員会といったものを作ろうと計画しています。

また、大連市への経済代表団の派遣や研修生の受け入れなども行っていきたいと思っています。

友好港については、大連市が四月に北九州市で調印式をしたこと、港当局で調整をしています。現在、友好港になれば、なお一層経済交流が盛んになると思います。



大連港

第二緑地保育センター

建設へ

議員 緑地保育センターの増設が強く望まれていましたが、このたび第二緑地保育センターの建設経費が予算計上されています。

この緑地保育センターの特色や計画の概要はどのようになっていますか。

市長 若松区にある緑地保育センターは、申し込みが多く抽選できないと利用できないという状況にあります。

このためモノレールの終点近くに緑地保育センターを建設する予定で、予算を計上しています。

現在、用地買収は最終段階に入っており、来年四月にはオープンしたいと思っています。

この緑地保育センターは、近くに志井公園があり、交通科学館、プール等が利用できるもので、若松区の緑地保育センターとは違った味わいをもつものにしたと考えています。

また、規模は敷地が約八千三百平方メートルで、建物の面積は六百五十平方メートルとなります。

設備については、若松の緑地保育センターと同程度のものを予定しています。

文書館建設と

情報公開

議員 文書館の建設にあわせて情報公開を制度化すると聞いています。

昨年十二月に文書館のあり方について、文書館建設問題懇話会か

ら提言がありました。今後のスケジュールはどのようになっていますか。

市長 文書館は、公文書を中心として整理保存する保存倉庫としての機能、古文書、郷土に関する資料の収集を行う文化的な施設としての機能、また、情報公開制度の窓口としての機能という三つの性格をもっています。

建設場所としては、九州厚生年金会館東側の市有地を予定しており、六十年度に基本設計を行い、六十一年度に着工、六十三年度初めには開館できるようにしたいと考えています。

また、情報公開制度については、今年八月までには素案をまとめ、九月には各界、各層の有識者で構成される情報公開問題懇話会といった組織を設置するなどして、準備をすすめていきたいと思っています。

文書館の開館と同時に情報公開制度をスタートさせたいと考えています。

料金の軽減は

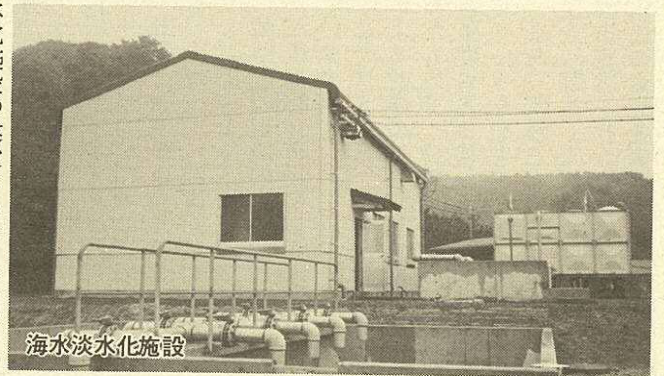
藍島簡易水道

議員 藍島の海水淡水化施設が四月から動き始めます。

これに伴い料金の改正が行われ、新料金は、基本料金で現行の三倍、超過料金で六倍となります。

淡水化に経費がかかることは、十分理解できますが、急激な値上げではなく段階的な料金改正など藍島の実情を考慮した対応はできないのですか。

市長 料金については、海水淡



海水淡水化施設

水化施設の建設にあたり、国、県から、地方公営企業に準じて採算性を十分に配慮するように指導を受けていますが、できる限り高くないよう、また、離島振興ということを考えて設定しました。

具体的には、施設建設費用の全額と基本料金相当分の半額を行政が負担し、基本水量を超える部分については、全額住民負担として

住民負担の軽減を配慮しながら設定したことを、ご理解いただきたいと思っています。

制度の改善を

標準服採用

議員 先ごろ、市内の一部の学校で標準服の採用に際し、業者から金品を受け取ったことが新聞報道されました。

この種の事件は、教育に対する信頼を著しく損うものとして、憂慮されますが、今後、各学校と指定業者への指導を含め、どのような改善を行うのですか。

教育長 このたびの不祥事については、市民の信頼に背くもので残念に思っています。

標準服として型式を決めている学校は、小学校百四十一校中七十六校、中学校では六十六校全部となっています。このうち中学校の場合、納入業者を一店に指定しているのが十五校、二店が十校、学生服協同組合加盟店としているのが三十八校、指定店なしが三校となっています。

標準服は最小限、型式を定めても、生地や質や値段については、数種類の中から選択できることが望ましいと思っています。

現在、実態を調査中であり、その結果を待って、型式の規制や業者指定のあり方、父母負担の軽減等についての方針を示し、標準服の採用と納入について厳しく指導していくことを考えています。

西小倉地区

再開発事業は

議員 西小倉地区においては、再開発のための準備組合が設立されるなど、昔の繁栄を取り戻すための準備が整いつつあります。

この再開発は、都市景観の形成、環境の整備、地区商店街の活性化等に大きく寄与するものと期待されます。

西小倉地区の再開発について、今後どのように取り組むのですか。

都市計画局長 西小倉地区は、官公庁や中央商店街に隣接した都心部に位置するなど、土地の高度利用の条件を多分に有しており、再開発による環境改善、都市機能の充実を図るべき地区と考えています。

市は、五十五年四月に発足した地元の再開発準備組合に対し、指導、助成に努めてきました。その結果、室町二丁目九番地の事業化について、権利者全員の合意がなされました。

この再開発事業は市街地住宅を主体とし、業務、商業施設を組み込んだ複合型を考えており、六十一年度中に施行主体となる再開発組合を設立させたいと思っています。

なお、住宅型の再開発なので、住宅・都市整備公団にも協力要請を行っており、現在、公団が調査を実施中で、近く結論が出るものと思われま



西小倉地区

予算特別委員会

昭和六十年年度予算などを詳細に審査するため、三月十一日の本会議で予算特別委員会を設置しました。
この委員会は、三つの分科会にわかれ、七日間にわたって審査を行いました。
その中から、質疑応答の主なものを取り上げました。

第一分科会

さわやか北九州プランの財源は

委員 健康都市づくりをめざす「さわやか北九州プラン」が六十年からスタートしますが、財源の確保が難しいと思われま

この財源確保のため、内陸型企業の誘致等、市のあらゆる分野における積極的な姿勢が必要と思

ますが、今後どのようにプランを推進する考えですか。

当局 「さわやか北九州プラン」については、新・新中期計画と同様に財政的な枠づくりは行っていません。

各局において、国や県の事業計画などを考慮した事業の実施プランの原案を作成し、調整したうえで施策の体系化を図る考えです。

また、このプランの実現のためには、企業誘致だけでなく既存企業の活性化を図ることも重要だと考えています。今後とも積極的な経済施策を講じていきたいと思

第二分科会

保健事業の推進を

委員 市民の健康を守るため、積極的に保健事業の推進を図る必要があると思

いますが、老人保健事業の推進については、六十年年度予算にどのように反映されていま

すか。

また、健康診査の受診率向上やがんについて、どのような対策を考えていますか。

当局 老人保健事業の推進については、厳しい財政状況にもかかわらず、健康診査の受診者の大幅

な増加を図るため、予算を増額しています。

受診率の向上については、PRの強化や健康モデル地区の指定、健康づくりリーダーの養成を図っています。

また、がん対策として、新規に肝癌がん対策とも関連のあるB型肝炎の母子感染の予防と小児がん対策として神経芽細胞腫の検査を実施する予定です。

さらに、肺がん検診は、医師会において検診システムや読影に対する精度管理等の調査を行っており、これに対し助成を行います。

第三分科会

入居の見通しは

委員 久岐の浜ニュータウン計画は、増改築、部品交換などができる新しいシステムを取り入れ、また、都市景観に配慮したすばらしい団地であると聞いています。

しかし、完成後、速やかに入居が行われるのか危ぐされます。

入居の見通しについて、どのように考えていますか。

当局 この団地は、集合住宅であり、多くの人が入居できるように条件整備を行い、住みたくなる団地づくりをめざしていきたいと考えています。

この地区は市街地内にあり、交通の便が良く、職住近接の場所にあることなどから、需要は十分期待できると思

います。今後、経済状況等を勘案しながら、計画をすすめていきたいと考えています。

会派構成

自由民主党	戸町 武	(18名)	磨樹
中島 慎一	鷹木 勝治		
吉田 通生	杉野 保		
山家 節夫	宮本 直道		
和尾 利治	松本 静夫		
松尾 武	平山 政智		
浜田 順治	芳野 直行		
三村 善茂	井生 猛志		
片山 尹	井上 勝二		
民社・市民連合	(12名)	安藤 正道	
重田 幸吉	蔵田 博		
谷 良三	本田 政光		
佐藤 昭紀	野口 研一		
中野 利幸	吉尾 計		
大坪 郁夫	安田 富彦		
中川 寿	(10名)	岡田 義信	
公明党	中村 昌雄		
柳田 国憲	永田 秀雄		
小林 恭一郎	有馬 利雄		
富永 実雄	弘友 和夫		
吉河 節郎	高尾 新一		
社会党	(9名)	春田 篤	
那波 公明	江島 克演		
白石 照義	松井 義一		
坂本 英敏	本原 義一		
下原 廣志	(8名)	安部 誠	
共産党	塚内 浩之		
水町 勝利	福田 淑江		
牧田 一生	村田 孝英		
石田 康高	野依 勇武		
市民クラブ	(5名)	城戸 武夫	
◎山中 三敏	渡辺 讓治		
◎山下 憲定			
◎木下 弘			
無所属	(2名)	田中 幸子	
細川 政勝			

議会運営委員会委員

- ◎委員長 ○副委員長
- ◎井上 勝二(自 民 党)
- ◎中野 利幸(民社・市民連合)
- ◎鹿田 磨樹(自 民 党)
- ◎佐藤 昭紀(民社・市民連合)
- ◎小林 恭一郎(公 明 党)
- ◎有馬 利雄(公 明 党)
- ◎田中 覚(社 会 党)
- ◎村田 孝英(共 産 党)
- ◎武智 弘(市民クラブ)

海江田典夫議員逝去

さる二月二十日に海江田典夫議員(八幡西区選出、五十六歳)が、ご逝去されました。同議員は、経済港湾常任委員長などの要職を歴任され、市政に大きく貢献されました。ここにつつしんで故人のごめい福をお祈り申し上げます。

北九州市民憲章

緑を豊かに
清潔で美しいまちにします
きまりを守り
安全なまちにします
人を大切に
ふれあいの輪をひろげます
元気で働き
明るい家庭をつくります
学ぶ楽しさを深め
文化のかおるまちにします



分科会の審査風景

常任委員会委員

◎委員長 ○副委員長

Table with 6 columns: 総務財政委員会, 民生水道委員会, 公害衛生委員会, 経済港湾委員会, 建設交通委員会, 文教建築委員会. Each column lists committee members with their names and symbols.

特別委員会委員

◎委員長 ○副委員長

Table with 6 columns: 大都市税財政制度確立特別委員会, 鉱害対策特別委員会, 都市交通・新空港・路面電車対策特別委員会, 都市再開発対策特別委員会, 企業立地促進・雇用対策特別委員会, 青少年問題・年長者対策等特別委員会. Each column lists committee members and their assigned topics.

※ 中欄は調査研究事項

人事紹介

二月定例会において、次のかたがたが決まりました。(敬称略)

堀川水利組合議会議員

安永 勝治 杉野 廣
鷹木 文次 和田 利一

笹尾川水利組合議会議員
杉野 保 田中 幸子
岩永 嘉美 島津 種雄
池永 工 宇津卷 菊一
金子 吉次 香月 昭三郎
千々和 泰二 石松 専

直方市・北九州市岡森用水組合議
会議員
中村 昌雄 村田 孝英
北九州市門司区農業委員会委員
中島 慎一 宮本 直道
安藤 正道 柳田 国憲
牧 一生

北九州市小倉北区農業委員会委員
永田 秀雄 細川 政勝
北九州市小倉南区農業委員会委員
三村 善茂 片山 尹
藏田 博 野口 研一
渡辺 讓治 野口 研一

北九州市若松区農業委員会委員
重田 幸吉 富永 実雄
坂本 英敏 野依 勇武
城戸 武夫

北九州市八幡東区農業委員会委員
戸町 武 本田 政光
北九州市八幡西区農業委員会委員
和田 利治 安田 富彦
有馬 利雄 本原 義一

北九州市監査委員
石田 康高 山中 三敏
富永 実雄

北九州市固定資産評価審査委員会委員
和田 昭夫 山中 三敏

委員
木元 四郎